

事業名 みんなのまちづくり教室 ～県立あいかわ公園整備事業～

神奈川県では21世紀を担う子供たちに公共事業を通して、まちづくりを理解してもらう「みんなのまちづくり教室」事業を推進している。その一環として県立あいかわ公園では小学生を公園整備の工事現場へ招き、でき上がっていく過程や自然環境にやさしい工法、施設づくりなどについて体験してもらう授業を実施し、教育関係者等から高く評価された事業

受賞機関 神奈川県厚木土木事務所
事業実施期間 平成12年3月～平成13年3月
事業費 140百万円

事業等の特徴

この事業は、平成11年度から神奈川県で実施されている「みんなのまちづくり教室」の一環として、宮ヶ瀬ダムに隣接する県立あいかわ公園で、地元の小学生を工事現場に招き、現場で発生した木材をチップ化して遊歩道に敷設するなどの公園内の自然環境にやさしい工法、施設づくりなどを体験してもらったり、公園にかかる人道橋の名称を小学生から募集などを内容としている。

なお、本事業を進めるにあたって課題とされていた 学校近傍の十分なオープンスペースを有する安全な現場の確保、 実施内容の統一化と目的の明確化、 子供たちの現場での安全性の確保の3点についての解決を図り、円滑な事業実施を可能とした。子供たち及び教育関係者から好評を博している。



体験状況

事業の概要と利用者等の評価

神奈川県では、21世紀を担う子供たちに公共事業を通して、まちづくりを理解してもらうために「みんなのまちづくり教室」を実施している。これは、市町村教育委員会の協力を得ながら、土木事務所等の職員が講師となつて小学校に赴き、子供たちに、道路、河川、公園などの公共事業を体験学習してもらうもので、平成11年度から本格的な取り組みを始め、年々開催校が増加し、平成14年度までで延べ132校、10,754人の子供たちが参加している。さらに、この取り組みを充実させるために、平成12年度に県教育庁の協力を得て、子供専用のテキスト「住みやすいまちづくりをみんなで考えよう」を作成し、本教室で活用している。

今回の対象の神奈川県厚木土木事務所では、平成12年度に、神奈川県の県央部に位置する宮ヶ瀬ダムに隣接した県立あいかわ公園で、学校授業の一環として、地元の小学生を工事現場へ招き、現場で発生した木材をチップ化して遊歩道に敷設するなどの公園内の自然環境にやさしい工法、施設づくりなどを体験してもらう取り組みを行ったが、この内容が教育関係者から高く評価された。

このような取り組みを通じ、社会資本整備に対する正しい知識と理解が子供や父兄を通じて広く国民に伝わることを期待される。

審査委員会委員の意見等

- ・社会資本整備に対する正しい知識と理解を深めるために行われている各種体験学習の一つであるが、平成11年から継続して実施してきている点、12年度には県立あいかわ公園でチップ敷設という実体験をさせる等工夫をしている点が評価される。
- ・公共事業を通して子供たちに町づくりを理解してもらう取り組みと教育関係者から理解されていることが評価できる。
- ・テキストの作成など参考にすべき成果も多く、高く評価できる。
- ・森林への理解、間伐材の利用等を含め、もっと普及して欲しいものである。

